

第2編 各教科及び特別活動における評価規準に盛り込むべき事項等

第1章 国語

第1 教科目標、評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、国語を尊重しようとする。	相手や目的、意図に応じ、話したり聞いたり話し合ったりし、自分の考えを明確にしている。	相手や目的、意図に応じ、文章を書き、自分の考えを明確にしている。	目的に応じ、内容をとらえながら本や文章を読み、自分の考えを明確にしている。	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて書いている。

※ 国語科では、学習指導要領の内容の示し方やこれまでの実践を踏まえ、「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」を、学習指導要領の内容のまとまりに合わせ、基礎的・基本的な知識・技能と「思考・判断・表現」とを合わせて評価する観点として位置付けた。そこで、上記のように、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5観点を設定した。

3 内容のまとまり

国語科においては、学習指導要領の内容の「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」を内容のまとまりとした。

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕については、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各内容のまとまりの中に関連する事項を含めた。

第2 内容のまとまりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

I 第1学年及び第2学年

1 学年目標

- (1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

2 第1学年及び第2学年の評価の観点の趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、進んで話したり聞いたり書いたり、楽しんで読書したりしようとする。	相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたり、話題に沿って話し合ったりしている。	経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書いている。	書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして本や文章を読んでいる。	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく丁寧に書いている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1)「A 話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。
- ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。
 - イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。
 - ウ 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。
 - エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。
 - オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。
- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること。
 - イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりすること。
 - ウ 場面に合わせてあいさつをしたり、必要なことについて身近な人と連絡をし合ったりすること。
 - エ 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたり、話題に沿って話し合ったりしようとしている。 ・話したい聞きたいという願いをもって、進んで話したり聞いたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことや経験したことなどから話題を決めている。(ア) ・話題に合わせて、必要な事柄を思い出している。(ア) ・相手に応じて、話す事柄を順序立てている。(イ) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話している。(イ) ・姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話している。(ウ) ・大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞いている。(エ) ・互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合っている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ア)) ・アクセントによる語の意味の違いに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(イ)) ・言葉には、意味による語句のまとめりがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ウ)) ・文の中における主語と述語との関係に注意して話したり聞いたりしている。(イ(カ)) ・敬体で書かれた文章や敬体を用いた話し方に慣れている。(イ(キ))

- ※ 評価規準に盛り込むべき事項は、小学校学習指導要領・国語の「2 内容」に示す「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の（1）の指導事項及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示す事項（以下、指導事項等）に基づき作成している。
- ※ 指導事項等と評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例との対応関係を明示するため、評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例の末尾には、該当する指導事項等の記号を（ ）内に示している。（「国語への関心・意欲・態度」を除く。）
- ※ 上述の注記については、すべての「内容のまとめり」においても同様である。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
ア 「事物の説明や経験の報告をしたり，それらを聞いて感想を述べたりする言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる事物について，詳しく説明したいという思いを膨らませて話す事柄を選ぼうとしている。 ・もっと聞いてみたいという思いをもって聞き，感じたことを述べようとしている。 ・話したいことを様々に思い浮かべた上で，一番伝えたいことを決めて話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で目にする事物や自分がよく使っている物などから，説明する必要がある事物を選んでいく。(ア) ・対象をよく観察したり，自分がどのように使うのかを思い出したりして，説明するために必要な事柄を挙げている。(ア) ・どんな事物について説明するのか，それは生活の中でどんな役割を果たすのか，そのためにどんな構造になっているのかなど，説明する事柄を順序立てている。(イ) ・どんな言葉で話すのかを考えた上で，学級全体の人たちに向けて丁寧な言葉で話している。(イ) ・自分が聞きたい話の内容と，相手が伝えたい話の内容の大事なことを落とさないようにしながら聞き，感想を述べていく。(エ) ・家庭生活や学校生活で経験したことなどの中から話したいことを挙げ，一番話したいことを決めている。(ア) ・おもしろかったことや楽しかったことを思い出して，ノートに書き出している。(ア) ・報告する内容の順序を考えたり，それぞれの内容を時間の経過に基づいて整理したりしている。(イ) ・内容が伝わるように，発音や話す速さに注意し，聞き手全員に届く声の大きさと話している。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には，事物の内容を表す働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ア)) ・主語と述語とを照応させて話している。(イ(カ)) ・言葉には，経験したことを伝える働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ア))

<p>イ 「尋ねたり応答したり，グループで話し合っって考えを一つにまとめたりする言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うことや話し合っって物事を決めていくことよさや楽しさを感じながら，グループの考えを一つにまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合う必要のある話題を決めている。(ア) ・話題について話し合うために必要な材料を集めたり，考えを一つにまとめるために必要なことを理解したりしている。(ア) ・グループの聞き手に自分の考えが伝わるように，順序立てて意見を述べている。(イ) ・グループの聞き手全員に聞こえる声の大きさを話している。(ウ) ・考えを一つにまとめるために，自分はどれがよいと思うかを考えたり，自分の意見と結び付けたりしながら聞いている。(エ) ・友達から出た意見を基に同じものを見付けたり，似ているものを組み合わせたりして，グループの意見をまとめながら話合いを進めている。(オ) ・話し合っって考えを一つにまとめるために大切なことについて，振り返って確かめている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には，同義語，類義語，対義語など，意味による語句のまとまりがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ウ))
<p>ウ 「場面に合わせてあいさつをしたり，必要なことについて身近な人と連絡をし合ったりする言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつが必要な場面で，日常的にあいさつをしようとしている。 ・正確に伝えたり聞いたりすることの大切さを感じて，大事なことを落とさないように連絡したり，聞いたことをメモしたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中のいろいろな場面に応じたあいさつの言葉を選んでる。(イ) ・相手に応じて，丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けてあいさつをしている。(イ) ・連絡する必要がある事柄を思い出し，相手に対して伝える内容を決めている。(ア) ・学習や学校行事，催し物などについての説明を聞き，日時や場所，持ち物など必要な事柄をノートにメモしている。(エ) ・自分が取ったメモを基に，持ち物や催し物などについて，はっきりした発音で友達に連絡している。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場にに応じて言葉の使い方が変わることを意識し，話している。(イ(キ)) ・同音の語でもアクセントによって意味が異なる場合があることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(イ))

エ 「知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり，それを聞いたりする言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な出来事や事物の中から自分が一番紹介したい事柄を見付けたり，紹介の仕方を工夫したりしようとしている。 ・相手が紹介することについて聞きたい，質問してみたいといった期待や願いをもって聞こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味を抱いたり，楽しく感じたり，好ましく思ったりした事物を思い出し，身近な人に紹介したい話題を決めている。(ア) ・紹介する内容が伝わるように，事物の様子や時間，場所など必要な事柄を挙げている。(ア) ・何について紹介するか，どのようなものか，それについて自分はどう思っているかなど，話の組立てを考えている。(イ) ・紹介する内容について，時間的な順序や紹介したい事柄の順序を考えている。(イ) ・紹介する際に用いる言葉を繰り返し声に出して確かめながら，内容がより具体的に伝わる言葉遣いを考えている。(イ) ・聞き手に紹介したい事柄が伝わるよう，姿勢や口形，声の大きさや速さに注意して，はっきりした発音で話している。(ウ) ・相手が紹介したい事柄の大事なことと，自分が聞きたい事柄の大事なことを落とさないように聞き，質問したり感想を述べたりしている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを表す語句や色，大きさ，形を表す語句など，意味による語句のまとまりがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ウ))

- ※ 評価規準の設定例は，指導事項等に「2 内容」(2)に示す言語活動例を組み合わせることを基本として例示したものである。
- ※ 評価規準の設定例は，できるだけ多様な指導事項等を取り上げて例示している。各学校において単元の評価規準を設定する際は，児童の実態や年間指導計画等の見通しの基に重点化して取り上げることとなる。
- ※ 上述の注記については，すべての「内容のまとまり」においても同様である。

(2)「B 書くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 書くこと的能力を育てるため，次の事項について指導する。
- ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め，書こうとする題材に必要な事柄を集めること。
- イ 自分の考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
- ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら，つながりのある文や文章を書くこと。
- エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに，間違いなどに気付き，正すこと。
- オ 書いたものを読み合い，よいところを見付けて感想を伝え合うこと。
- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 想像したことなどを文章に書くこと。
- イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。

- ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。
- エ 紹介したいことをメモにまとめたり，文章に書いたりすること。
- オ 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや想像したことなどについて，順序を整理し，簡単な構成を考えて文や文章を書こうとしている。 ・自分の思いを書いて伝えることのよさを見付けたり楽しさを感じたりしながら，進んで書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや想像したことなどから書くことを決めている。(ア) ・書こうとする題材に必要な事柄を集めている。(ア) ・自分の考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(イ) ・語と語や文と文との続き方に注意しながら，つながりのある文や文章を書いている。(ウ) ・文章を読み返す習慣を付けるとともに，間違いなどに気付き，正している。(エ) ・書いたものを読み合い，よいところを見付けて感想を伝え合っている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には，事物の内容を表す働きや，経験したことを伝える働きがあることに気付いて文や文章を書いている。(イ(ア)) ・言葉には，意味による語句のまとまりがあることに気付いて文や文章を書いている。(イ(ウ)) ・長音，拗音，促音，撥音の表記ができ，助詞の「は」，「へ」及び「を」を文の中で正しく使っている。(イ(エ)) ・句読点の打ち方や，かぎ(「 」)の使い方を理解して文章の中で使っている。(イ(オ)) ・文の中における主語と述語との関係に注意して文や文章を書いている。(イ(カ)) ・敬体で書かれた文章に慣れ，敬体で書いている。(イ(キ)) ・平仮名及び片仮名を正しく書いたり，片仮名で書く語の種類を理解して文や文章の中で使ったりしている。(ウ(ア)) ・第1学年に担当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使っている。(第1学年)(ウ(イ)) ・第1学年に担当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，第2学年に担当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使っている。(第2学年)(ウ(ウ)) <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくし，文字の形に注意しながら，丁寧に書いている。(ア) ・点画の長短や方向，接し方や交わり方などに注意して，筆順に従って文字を正しく書いている。(イ)

【「B 書くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
ア 「想像したことなどを文章に書く言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> 想像したことを基にして、物語を書いたり、書き換えたり、続きを書いたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 想像したことを手掛かりにして、場面や登場人物を決めている。(ア) 絵を見て、想像を膨らませながら、事柄の順序に沿って話の筋を考えている。(イ) 場面の様子がよく分かるように人物の行動や会話のつながりを考えて書いている。(ウ) 自分や友達が書いた物語のおもしろいところを見付けながら読んでいる。(オ) 友達が書いた物語を読んで、一番おもしろかったところを伝えている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 会話文に用いるなど、かぎ(「 」)の使い方を理解し、自分が書く文章の中で使っている。(イ(オ)) 平仮名や片仮名を正しく書いている。(ウ(ア)) 擬声語、外国の地名や人名、外来語など、片仮名で書く語の種類を理解し、文や文章の中で使っている。(ウ(ア))
イ 「経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書く言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> 発見したことや不思議に思ったことなどを知らせたいという思いを膨らませ、経験したことを報告する文章を書こうとしている。 書いた文章を読んでもらうことで、書くことのよさを実感し、さらによりよく書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校、家庭や地域などで経験したことの中から、報告したい事柄を選び、報告する相手を決めている。(ア) 経験したことを書くために必要な事柄を、時間の経過や経験した内容、その時感じたことなどに注意して思い出している。(ア) どんな経験について報告するのか、経験の内容はどのようなものだったか、その経験を通してどんなことを感じたり考えたりしたかなど、文章の構成を考えている。(イ) 経験したことが伝わるように、順序を表す言葉や、集めた材料と材料とをつなぐ言葉や文を用いて、報告する文章を書いている。(ウ) 書いた文章を読み合い、書き手が報告したいことがよく伝わってくる文を見付けたり、その文を基にして読んだ感想を伝えたりしている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、自分が経験したことを表現したり伝えたりする働きがあることに気付いて文章を書いている。(イ(ア)) 第1学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(第1学年)(ウ(イ)) 第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(第2学年)(ウ(ウ))
<ul style="list-style-type: none"> 観察したことやその時に感じたことを記録することのよさを味わいながら、正確に記録しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察したことの中から発見したことや印象に残ったことを見付けている。(ア) 観察して分かったことや感じ 	<ul style="list-style-type: none"> のばす音(長音)、ねじれる音(拗音)、つまる音(促音)、はねる音(撥音)の表記ができ、文の中で使っている。(イ)

	<p>たことなどを、その場で短い文や箇条書きでメモしている。(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録するために集めた事柄を、観察した時間の経過や観察した対象のまとまりに即して並べている。(イ) 観察対象、観察内容の記録、観察して感じたことなど、記録文の構成を考えている。(イ) 時間の経過や観察対象の場所や様子が伝わるよう、順序や時間の経過が分かる言葉や大きさ、形状、色などの描写に気を付けて事実を記録する文章を書いている。(ウ) 観察したことやその時の感想が正確に記録できたかを確かめるために、書いた文章を読み返している。(エ) 書いた文章を読み合い、書き手の気付きのよさを見付けている。(オ) 互いの書いた記録を読み合い、観察対象について改めて気付いたことなどを伝えている。(オ) 	<p>(エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 助詞の「は」、「へ」及び「を」を文の中で正しく使っている。(イ(エ))
--	---	--

ウ 「身近な事物を簡単に説明する文章などを書く言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近にあるお気に入りの物の特徴をつかみ、それを読み手にも伝えたいという願いをもって書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や自分が大切にしている物の中から、説明したいものを決めている。(ア) 自分が説明したい事物を詳しく見たり、動かしたりしながら特徴を見付けている。(ア) 何を説明しようとしているのか、説明対象の特徴はどのようなものか、それについて自分はどう思っているのかなどの説明の順序を考えている。(イ) 伝えたい物の特徴や動きなどが伝わるように、様子を表すのにふさわしい言葉を用いて書いている。(ウ) 自分が書いた文章を読み返し、間違いなどに気付き、正している。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いて文章を書いている。(イ(ア)) 文末に句点を打って、文を書いている。(イ(オ)) 文頭の接続詞の後、主語の後、従属節の後、並列する語の後などに読点を打つことで意味が伝わりやすくなることを理解し、文や文章を書く際に使っている。(イ(ウ)) 主語と述語とを照応させて文を書いている。(イ(カ))
---	---	---

エ 「紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりする言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から一番紹介したいことを選び、読み手に詳しく伝えたいという思いをも 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな人物やお気に入りの遊びなど、日常生活の中から紹介したいことを決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物の名前を表す語句、気持ちを表す語句など、意味による語句のまとまりがあることに
---	---	---

<p>って書こうとしている。</p>	<p>(ア) <ul style="list-style-type: none"> インタビューなどを通して、気付いたことをメモしている。 (ア) <ul style="list-style-type: none"> 紹介したいことについて、内容のまとまりごとに分け、書く順序を考えている。(イ) 紹介したいことの中から、一番紹介したいことを、箇条書きや、絵に添えた文などの形でメモしている。(ウ) 友達が書いた紹介文を読んで、感想を伝え合っている。(オ) </p>	<p>気付いて文や文章を書いている。(イ(ウ))</p>
<p>オ 「伝えたいことを簡単な手紙に書く言語活動」を通した指導</p>		
<p>・手紙を書いたり、返事をもらったたりする楽しさを感じながら、手紙で思いを伝え合おうとしている。</p>	<p>・手紙を書く相手に向けて、学校生活や自分の経験の中から、手紙に書きたいことを決めている。(ア) ・自分の生活や経験を思い出しながら、相手に伝えたいことを集めたり、その中から自分が一番伝えたいことを選んだりしている。(ア) ・相手に自分の思いが伝わるように、書いた手紙を読み返し、間違いなどを正している。(エ) ・手紙をもらって読んだり、それに対して返事を書いたりしている。(オ)</p>	<p>・敬体で書かれた文章に慣れ、文や文章を敬体で書いている。(イ(キ)) ・文字の概形に注意しながら、丁寧に手紙を書いている。 [書写] (ア)</p> <p>[書写] ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして、丁寧に書いている。(ア) ・点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、文字を正しく書いている。(イ) ・筆順に従って文字を正しく書いている。(イ)</p>

(3) 「C 読むこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 読むことのできる能力を育てるため、次の事項について指導する。
 - ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。
 - イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。
 - ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
 - エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。
 - オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。
 - カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
 - ア 本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読むこと。

- イ 物語の読み聞かせを聞いたり，物語を演じたりすること。
- ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。
- エ 物語や，科学的なことについて書いた本や文章を読んで，感想を書くこと。
- オ 読んだ本について，好きなところを紹介すること。

【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり，想像を広げたりして読もうとしている。 ・知識を得たり好きなところを紹介したりするために，本を選んで，楽しんで読書しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(ア) ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読んでいる。(イ) ・場面の様子について，登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。(ウ) ・文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。(エ) ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて，自分の思いや考えをまとめ，発表し合っている。(オ) ・楽しんだり知識を得たりするために，本や文章を選んで読んでいる。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり，発表し合ったりしている。(ア(ア)) ・言葉には，事物の内容を表す働きや，経験したことを伝える働きがあることに気付いて文や文章を読んでいる。(イ(イ)) ・音節と文字との関係や，アクセントによる語の意味の違いなどに気付いて声に出して読んでいる。(イ(イ)) ・言葉には，意味による語句のまとまりがあることに気付いて文や文章を読んでいる。(イ(ウ)) ・文の中における主語と述語との関係に注意して文や文章を読んでいる。(イ(カ)) ・敬体で書かれた文章に慣れている。(イ(キ)) ・平仮名及び片仮名を正しく読んでいる。(ウ(ア)) ・第1学年に担当されている漢字を読んでいる。(第1学年)(ウ(イ)) ・第2学年までに担当されている漢字を読んでいる。(第2学年)(ウ(ウ))

【「C 読むこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
ア 「本や文章を楽しんだり，想像を広げたりしながら読む言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・物語に描かれている世界に浸りながら，自分の好きな本や文章，お気に入りの場面などを見つけて，登場人物の行動や場面展開について想像を広げながら読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんだり知識を得たりするために，科学的な読み物や物語集，絵本などを様々に読んで，好きなものや興味のあるものを選んで読んでいる。(カ) ・自分がおもしろいと思った場面について，登場人物の行動や会話に着目し，想像を広げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名及び片仮名を正しく読んでいる。(ウ(ア)) ・文や文章の中で漢字を読み，文脈の中での意味と結び付けている。(第1学年)(ウ(イ))

	<p>て読んでいる。(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の内容と自分の知識や経験、読書体験などを結び付けながら理由を挙げて、好きなところや楽しいところを発表し合っている。(オ) 	
<p>イ 「物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりする言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 物語の読み聞かせを聞いて、音読の楽しさに気付いたり、簡単な劇で自分の思いを表現したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせやストーリーテリングを聞いて、登場人物の行動が変化していくことを大まかに把握した上で、好きな場面の様子を想像している。(ウ) 好きな場面について、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(ア) 場面の様子を劇で表すという目的をもって、登場人物の行動に気を付けて読み、場面の様子を想像している。(ウ) 文章の内容と自分の知識や経験などを結び付けながら、心に残った場面を選び、表情や手振りを伴った劇やペーパーサートの劇を演じている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 昔話や古事記、日本書紀、地域に伝わる伝説などの読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりしている。(ア(ア)) 伝統的な言語文化に触れ、話のおもしろさや独特の語り口調、言い回しなどに気付き、親しんでいる。(ア(ア)) 音節と文字との関係に注意しながら、平仮名や片仮名、漢字を声に出して読んでいる。(イ(イ)) 同音の語でもアクセントによって意味が異なる場合があることに気付いて声に出して読んでいる。(イ(イ))
<p>ウ 「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組みなどについて説明した本や文章を選んで読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読み、文章の内容と自分の経験とを結び付けて感想をもったり、より多くの知識を得るために様々な本や文章を読むなどのめあてや見通しをもったりしている。(オ) 自分の知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組みなどがなぜそうなっているのかを文章から見付けながら読んでいる。(イ) 時間的な順序や事柄の順序、冒頭でおおよそを述べてから具体的な内容を説明するといった文章の構成上の順序などに気を付けながら、文章を読んでいる。(イ) 知識を得るために、事物の仕組みなどについて説明した本や文章を、題名や目次、図や写真などに着目して選んで読んでいる。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いて文や文章を読んでいる。(イ(ア)) 主語と述語との照応関係に注意して文や文章を読んでいる。(イ(カ)) 第1学年に配当されている漢字を読んでいる。(第1学年)(ウ(イ)) 第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。(第2学年)(ウ(ウ))

エ 「物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書く言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> 科学的なことについて書いた本や文章を読んで、互いの思いや感想を分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的なことについて書いた本や文章を読んで、強く興味をもったところや疑問に思ったところ、もっと読んで知りたいところなど、大事な言葉や文を書き抜いている。(エ) 文章の内容と自分が既にもっている知識や経験、読書体験などを結び付けて、感想を書いている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、本や文章を読んで感想を書く際に用いている。(イ(ウ))
オ 「読んだ本について、好きなどころを紹介する言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> 自分の大好きな本の特徴に気付き、選んだ作品に対する思いが伝わるように、本の楽しさを共有しながら紹介しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな物語を様々に読んだ上で、紹介したい本や文章を選んでいる。(カ) 自分の好きな場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して想像を広げて読んでいる。(ウ) 物語を読んで、自分の思いをもつことに強く影響した、文章の中の大事な言葉や文を見付けて、書き抜いている。(エ) 物語の中の好きなどころについて、自分の知識や経験、読書体験とを結び付けて紹介している。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 文末の表現に注意して、敬体で書かれた文章に読み慣れている。(イ(キ))

II 第3学年及び第4学年

1 学年目標

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

2 第3学年及び第4学年の評価の観点の趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、工夫をしながら話したり聞いたり書いたり、幅広く読	相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、進行に沿って話し合	相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書いている。	目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら本や文章を読んでいる。	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を形や大

書したりしようと する。	たりしている。		きさ、配列、筆圧 などに注意して書 いている。
-----------------	---------	--	-------------------------------

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。
- ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。
 - イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。
 - ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。
 - エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。
 - オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。
- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。
 - イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。
 - ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、進行に沿って話し合ったりしようとしている。 ・ 話の構成や内容への関心を深め、工夫をしながら話したり聞いたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のあることなどから話題を決めている。(ア) ・ 必要な事柄について調べ、要点をメモしている。(ア) ・ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てている。(イ) ・ 丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話している。(イ) ・ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話している。(ウ) ・ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりしている。(エ) ・ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ア)) ・ 話したり聞いたりするために必要な語句を増している。(イ(オ)) ・ 修飾と被修飾との関係をはっきりさせて話したり、それらに注意して聞いたりしている。(イ(キ)) ・ 文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使って話したり、それらに注意して聞いたりしている。(イ(ク))

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
ア 「出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりする言語活動」を通じた指導		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心をもったことなどについて詳しく説明したいという思いを膨らませ、よりふさわしい事例や言葉遣いを見付け出して話そうとしている。 ・ 友達の説明を自分の経験や考えと比べながら聞き、意見を述べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活で関心をもっていることの中から説明することを決めている。(ア) ・ 説明するために、本や文章を読んだり人に聞いたりして、得た知識や情報の要点をメモし、話したいことや聞きたいことを明らかにしている。(ア) ・ 説明する事柄に関心を抱いた理由やなぜそのような考えになったのかという根拠、事例などを挙げながら筋道を立てて、話す内容を構成している。(イ) ・ 出来事の内容を知らない人が聞いても理解しやすいように、冒頭でどんなことについて話すのかを大まかに述べたり、出来事の経過をはっきりさせる言葉を使ったりして、丁寧な言葉を選んで発表原稿を書いている。(イ) ・ 聞き手の理解や注意を促すために、聞き手に視線を向けたり、言葉に調子を付けたり、間を取ったりしている。(ウ) ・ 説明の順序や話の組立て方を意識しながら、話の要点を聞き、自分の経験や考えと比べるなどして、質問したり感想を述べたりしている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉には、自分の思考や感情を表す働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ア)) ・ 修飾と被修飾の関係などの文の構成を明確にして話したり、それらに注意して聞いたりしている。(イ(キ))
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の疑問を様々なところから見いだして調べたり、報告したりしようとしている。 ・ 調べて分かったことがよりよく伝わるよう、自らの話し方を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のあることや各教科等で行う調査などから話題を選び、それらを報告する相手や目的を具体的に設定している。(ア) ・ 調査の目的に合わせて、本やインタビュー、アンケートなど、調べるための方法を決めている。(ア) ・ 調査目的や方法、調べたときの記録、結果や分かったこと、それらを基に考えたことなど、報告したい事柄を明らかにして、話す内容を構成している。(イ) ・ 話し手が調べた課題やそのまとめ方に気を付けて聞き、その内容や報告の仕方の分かりやすさなどについて、自分の考えを述べている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的な事象を表す語句を含め、語句の量を増し、使い方の範囲を広げている。(イ(ホ)) ・ 指示語や接続語が文相互の関係や段落相互の関係を表す手掛かりになっていることを理解し、話したり聞いたりしている。(イ(ク))

イ 「学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりする言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うことによって課題を解決したいという意欲をもち、役割を分担しながら、提案したり意見を整理したり、自分の考えを発言したりしようとしている。 ・互いの意見を踏まえて一つにまとめていくために、それぞれの意見を尊重しながら話し合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級全体の課題の解決に向けて、話し合うための話題を決めている。(ア) ・話題について学級全体で一つの考えに集約するのか、一人一人の考えをそれぞれに深めることを目指すのかなど、話合いの方向性を共通理解している。(ア) ・話し合うために必要な事柄を調べて、提案したり話合いで決めたりしたいことをメモしている。(ア) ・話題について調べたり考えたりしながら聞きたいことをはっきりさせたり、話合いの場で聞きたい事柄を質問したりしている。(エ) ・司会者として話合いの方向性や柱立てを明らかにし、進行したり意見を整理したりするための言葉を考えている。(オ) ・司会者や提案者、参加者などの役割に応じ、話合いの目的や方向性をとらえて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想や意見を伝えたり、共有したりするために、適切な言葉で自分の考えを表すことが大切であることに気付いている。(イ(ア))
---	--	---

ウ 「図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> ・図表や絵、写真などを用いて説明することの利点を生かして自分の話したい事柄を説明したり、話し手が示した図表などと話の内容とを照らし合わせて興味をもったことを質問したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて効果的に情報を得るために、ふさわしい図表や絵、写真などを選んでいく。(ア) ・図表や絵、写真などから必要な事柄を見付け、自分が伝えたいことを根拠付けていく。(イ) ・物事の変化を示した表やグラフを取り上げ、どのように変化したのかについて全体的な傾向を概説したり、そこから読み取れることを数値などの根拠を挙げて説明したりしている。(イ) ・図表などから話し手が読み取ったことの妥当性を判断しながら、自分の聞きたい中心的な事柄について、分からない点や確かめたい点を質問したり意見を述べたりしている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語の役割を理解し、図表を用いて説明するために適切に使っている。(イ(ク))
--	--	--

(2) 「B 書くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。
- ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べる
 - イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。
 - ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。
 - エ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。
 - オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。
 - カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。
- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること。
 - イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。
 - ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。
 - エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書こうとしている。 ・ 自分の考えが明確になるように、工夫をしながら書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のあることなどから書くことを決めている。(ア) ・ 相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べている。(ア) ・ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成している。(イ) ・ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書いている。(ウ) ・ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(エ) ・ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりしている。(オ) ・ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合っている。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、自分の文章の中で使っている。(ア(イ)) ・ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解して文章を書いている。(イ(ア)) ・ 漢字と仮名を用いた表記の利点に気付いている。(イ(イ)) ・ 送り仮名に注意して書き、また、活用についての意識をもっている。(イ(ウ)) ・ 句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書いている。(イ(エ)) ・ 表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解し、書いている。(イ(オ)) ・ 表現するために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けている。(イ(カ)) ・ 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもっている。(イ(キ)) ・ 文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使っている。(イ(ク))

		<ul style="list-style-type: none"> ・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。(第3学年)(ウ(ア)) ・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(ウ(イ)) ・漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもち、文や文章を書く際に使っている。(ウ(ウ)) <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の組立て方を理解し、形を整えて書いている。(ア) ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書いている。(イ) ・点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書いている。(ウ)
--	--	--

【「B 書くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<p>ア 「身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりする言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことやこれまでの経験を基に、詩に書きたいことを決め、自分の思いを膨らませて書こうとしている。 ・これまでの読書体験などを基に、自分の思いを大切にしてお話をつくり、創造的に表現することの楽しさを味わおうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことの中から、自分の思いに合った情景や自分の心を動かした出来事を詩の題材として選んでいる。(ア) ・詩の題材の中から自分の気持ちを表現するのにふさわしい場面や情景を選んで描写し、詩に書き表している。(ウ) ・物語を読んで、続きの話を想像したり、新たな物語の題材を考えたりしている。(ア) ・登場人物や場面設定、事件とその結末など、物語の基本的な構成や、話の筋を考えている。(イ) ・主人公の性格を設定し、その性格を表す行動や会話を物語に書いている。(ウ) ・物語を読み、心に残った表現や書き方の巧みさについて意見を述べ合っている。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、思ったことや考えたことを表す働きがあることに気付いて、詩に書き表している。(イ(ア)) ・「漢字仮名交じり文」という日本語の表記の仕方やその利点に気付いている。(イ(イ)) ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して、つくった詩を書いている。[書写] (イ) ・段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書いている。(イ(エ)) ・修飾と被修飾との関係をはっきりさせて文を書いている。(イ(キ)) ・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(ウ(イ))

イ 「疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりする言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったことの中から興味をもったことを選んだり、調べていく過程で文章に書き表したいという思いを膨らませたりしながら書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事柄や学習した事柄について、不思議に思ったことや疑問に思ったことの中から、調査を報告する文章に書く題材を決めている。(ア) ・読んでもらう相手や、調べて報告する目的を具体的に決めている。(ア) ・複数の本やパンフレットなどを使って、必要な情報を集めている。(ア) ・調査の目的や方法、調査の結果とそこから考えたことなど、調査を報告する文章のもつ構成の特徴を踏まえて、文章の構成を考えている。(イ) ・書く目的や必要に応じて理由や事例を挙げていることが読み手にも伝わるよう、「その理由は～」、「例えば～」などの表現を適切に用いて書いている。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、考えを深めたり高めたりする働きがあることに気付いて文章を書いている。(イ(ア)) ・活用語尾を送るとい送り仮名の原則的な付け方を理解し、送り仮名に注意して書いている。(イ(ウ))
<ul style="list-style-type: none"> ・どんな学級新聞をつくりたいかを考えながら、材料を幅広く集めたり、担当する記事を分担したりして書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級新聞で伝えたい内容について協議し、編集方針やそれにふさわしい新聞の題名などを決めている。(ア) ・学級新聞の記事として取り上げたい内容を列挙し、その中から当該の号で取り上げるものを選んで割り付けを考えている。(イ) ・割り付けを基に、記事を書くために必要な情報を取材し、客観的なデータを得ている。(ア) ・集めた材料を基に、出来事を報道する記事、事物を紹介したり解説したりする記事などの種類に応じて記事を書いている。(ウ) ・記事の種類に応じて、敬体や常体を書き分けている。(エ) ・一番伝えたいことが伝わるような見出しを付けたり内容を概括するリード文を付けたりするなどの工夫をして、記事を書いている。(ウ) ・記事を読み返し、間違いなどを正したり、より正確な表現に書き直したりしている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象を表す語句を含め、語句の量を増し、使い方の範囲を広げている。(イ(オ)) ・表現するために必要な文字や語句について、国語辞典や漢字辞典などを利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けている。(イ(カ)) ・地名や人名を含めた日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。(第3学年)(ウ(ア)) ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して学級新聞の見出しや本文を書いている。 [書写](イ)

	<ul style="list-style-type: none"> 書いた新聞を読み合い，事実を正確に伝えているか，読者として興味をひかれた記事はどれかなどについて意見を述べ合っている。(カ) 	
ウ 「収集した資料を効果的に使い，説明する文章などを書く言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> 情報を読み手に分かりやすく伝えるため，図表，絵，写真などの視覚に訴える資料を活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明する目的や，図鑑や小冊子といった説明するための文章の種類に応じて，どのような資料が必要かを考えている。(ア) 本や文章，図表，絵，写真，具体物など，収集した資料から説明の目的や文章の種類に応じてより効果的なものを選んでいく。(ア) 視覚化したり具体化したりして説明するために，文章を図解したり写真やグラフを解説したりしながら，文章と図表などの資料とを関係付けて説明する文章を書いている。(ウ) 説明したい内容によりふさわしいものとなるように，図表などの提示の仕方に修正を加えたり，文章を書き直したりしている。(オ) 表記や文末表現の使い方などに注意して間違いを正したり，自分の考えを明確に記述しているか，表現の曖昧さはないかなどについて確かめたりしている。(オ) 友達の書いた文章を読んで，分かったことやもっと知りたいことを伝えている。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> 文を読みやすくするために，文脈に合わせて読点を適切に打ちながら書いている。(イ(エ)) 物の名前，動き，様子を表す語句など「性質」の上での語句の類別や，文の主語，述語，修飾する語句など「役割」の上での語句の類別があることを理解している。(イ(オ)) 漢字のへん，つくり，かんむり，あし，たれ，かまえ，にょうなど，部首と他の部分とによって漢字が構成されていることを理解している。(ウ(ウ))
エ 「目的に合わせて依頼状，案内状，礼状などの手紙を書く言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> 自分が書いた手紙が相手にどのように受け止められるかを考えながら書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> だれに，どんな目的で，どんな思いを伝えたいのかを考えて，書こうとする手紙の種類を選んでいる。(ア) 手紙の種類に応じて，基本的な手紙の形式を理解し，手紙に書く内容を構成している。(イ) 読み手に伝えたい思いや考えが明確になるように，ふさわしい言葉を選んで文章を書いている。(ウ) 依頼状や礼状を書く際に，敬体を使用して書いている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ことわざや慣用句，故事成語の意味を知り，手紙文などを書く際に用いている。(ア(イ)) 指示語や接続語は，文相互の関係，段落相互の関係を端的に示す手掛かりとなることを理解し，文脈に沿って指示語や接続語を使っている。(イ(ウ)) 漢字や仮名の大きさ，配列に注意して依頼状，案内状，礼状などの手紙を書いている。[書写] (イ)

	<ul style="list-style-type: none"> 書いた手紙を読み返し，文末表現などを正しく直している。(オ) 	<p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の組立て方を理解し，その特徴を踏まえて形を整えて書いている。(ア) 点画の種類を理解し，その形を作る筆の動きに注意して書いている。(ウ) 毛筆を使用して，点画の種類と関係付けながら，筆圧に注意して書いている。(ウ)
--	--	---

(3) 「C 読むこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 読むことのできる能力を育てるため，次の事項について指導する。

ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。

イ 目的に応じて，中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え，文章を読むこと。

ウ 場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の性格や気持ちの変化，情景などについて，叙述を基に想像して読むこと。

エ 目的や必要に応じて，文章の要点や細かい点に注意しながら読み，文章などを引用したり要約したりすること。

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い，一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

カ 目的に応じて，いろいろな本や文章を選んで読むこと。

- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1) に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 物語や詩を読み，感想を述べ合うこと。

イ 記録や報告の文章，図鑑や事典などを読んで利用すること。

ウ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと。

エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。

オ 必要な情報を得るために，読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。

【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて，内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら，本や文章を読もうとしている。 読んで感じたことや考えたことを明らかにしながら，幅広く読書しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読している。(ア) 説明したり必要な情報を得たりするなどの目的に応じて，中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え，文章を読んでいる。(イ) 場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の性格や気持ちの変化，情景などについて，叙述を基に想像して読んでいる。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> 易しい文語調の短歌や俳句について，情景を思い浮かべたり，リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりしている。(ア(ア)) 長い間使われてきたことわざや慣用句，故事成語などの意味を知り，使っている。(ア(イ)) 言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて文や文章を読んでいる。(イ(ア)) 漢字と仮名を用いた表記など

	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりしている。(エ) ・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付いている。(オ) ・紹介や説明をしたり、必要な情報を得たりするなどの目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読んでいる。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心をもち、文や文章を読んでいる。(イ(イ)) ・理解するために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。(イ(ウ)) ・理解するために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けている。(イ(カ)) ・修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもっている。(イ(キ)) ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。(イ(ク)) ・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読んでいる。(第3学年)(ウ(ア)) ・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(ウ(イ)) ・漢字のへん、つくりなどの構成について理解している。(ウ(ウ))
--	---	---

【「C 読むこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
ア 「物語や詩を読み、感想を述べ合う言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで、好きなところや心がひかれるところに着目しながら感想を述べようとしている。 ・自分の感想を述べたり感じ方の違いに気付いたり、好きな詩を見付けたりしながら、楽しんで詩集を読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ主人公が登場する物語を読んで感想を述べ合うために、シリーズの中から作品を選んで読んでいる。(カ) ・シリーズを通して描かれた登場人物の性格や気持ちの変化などを、叙述を基に想像して読んでいる。(ウ) ・物語を読んだ感想を、どの叙述に基づいているか、自分の経験などとどう関連しているのかを明らかにしながら発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付いている。(オ) ・詩集を読んで思ったことや感じたことを述べ合うために、詩集に収められた詩を選んで読んでいる。(カ) ・詩を読んで印象的な表現を 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名とでは、音節との関係や書き表す語の種類など、文字としての性質や役割が異なることを理解し、「漢字仮名交じり文」という日本語の表記の仕方に気を付けて、文や文章を読んでいる。(イ(イ)) ・短歌の三十一音、俳句の十七音から、季節や風情、歌や句に込めた思いを思い浮かべたり、七音五音を中心としたリズムから国語の美しい響きを

	<p>とらえたり，伝わってくる情景を想像したりしながら読んでいる。(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声に出して読みながら詩の内容や情景を想像し，自分の思いと合わせながらよく分かるように音読している。(ア) ・詩集を読んで感じたことを発表し合い，一人一人に伝わってくる情景や印象について違いのあることに気付いている。(オ) 	<p>感じ取りながら音読や暗唱をしたりしている。(ア(ア))</p>
--	---	------------------------------------

イ 「記録や報告の文章，図鑑や事典などを読んで利用する言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を解決するために，本や文章の選び方や利用の仕方を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を解決するのに必要な記録や報告の文章，図鑑や事典など様々な分野の本を選んで読んでいる。(カ) ・本の題名や種類に着目したり，索引を利用して検索したりして，必要な本や資料を選んでいる。(カ) ・自分の解決すべき課題に応じて，中心となる語や文をとらえて読んでいる。(イ) ・自分の解決すべき課題に応じて，結論とその理由や根拠，事実とそれに基づく意見との関係など，段落相互の関係を考えながら読んでいる。(イ) ・自分の課題を解決するのに必要な文章の要点に着目して読み，自分の考えを補強したり例示したりするために，必要な部分を引用したり要約したりしている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の名前，動き，様子を表す語句など「性質」の上での語句の類別や，文の主語，述語，修飾する語句など「役割」の上での語句の類別があることを理解し，文章を読んでいる。(イ(オ)) ・理解するために必要な文字や語句について，国語辞典や漢字辞典などを利用して調べる方法を理解し，調べる習慣を付けている。(イ(カ)) ・日常生活で目にする簡単な単語について，ローマ字で表記されたものを読んでいる。(第3学年) (ウ(ア)) ・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(ウ(イ)) ・漢字のへん，つくりなどの構成について理解している。(ウ(ウ))
---	---	--

ウ 「記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合う言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> ・説明的な文章を読んで感想をまとめたものを読み合い，互いの感じ方や考え方のよさを認め合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む目的や必要に応じて，知識や情報を選択したり，表現の仕方に着目したりして記録や報告の文章を読んでいる。(イ) ・以前に読んだ本や文章と比べて，自分のもっている知識や情報，日常生活などと結び付けたりして記録や報告の文章を読み，気付いたことや感想をまとめている。(オ) ・記録や報告の文章を読んでまとめた感想や考えを発表し合い，一人一人の着眼点の良さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて文や文章を読んでいる。(イ(ア)) ・修飾語と被修飾語との関係など，文の中での語句の役割や，語句相互の関係に気を付けて，文がどのように組み立てられているかを理解している。(イ(キ))
---	---	--

	<p>や感じ方の違いに気付いている。(オ)</p>	
<p>エ 「紹介したい本を取り上げて説明する言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 紹介したい本について説明するために、本を繰り返し読むなどして、改めて味わったり、新たなおもしろさに気付いたりしながら読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手が知らない本や、自分が読んで紹介したいと思う本について、選んだ理由を明らかにしながら読んでいる。(カ) 紹介したい内容やその理由を説明するために、中心となる語や文をとらえ、事実と意見との関係などを考えて本や文章を読んでいる。(イ) 自分が選んだ本のおもしろさを説明するために、場面の移り変わりの印象的などころや主人公の性格や気持ちの変化をとらえて読んでいる。(ウ) 紹介する理由を説明するために、ふさわしいところを引用したり要約したりしている。(エ) 紹介したい中心的な部分や場面の様子がよく分かるように、軽重や速さを工夫しながら音読し、内容を紹介している。(ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 指示語や接続語は、文相互の関係、段落相互の関係を端的に示す手掛かりになることを理解し、文章を読んでいる。(イ(ク))
<p>オ 「必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 疑問や課題を解決したいという意欲をもち、解決の手掛かりとなる本や文章を既習の方法を使って検索して見付けたら、それを読んで自分の考えをまとめたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や必要に応じて文章の要点や細かい点に注意しながら読み、疑問に思ったことや課題としてさらに調べたいことなどを明らかにしている。(エ) 本や文章から見付けた疑問や課題を解決するために、読みたい内容と関連する他の本や文章を探して読んでいる。(カ) 必要な情報を得る上で中心となる語や文に着目して、要点をまとめたり小見出しを付けたりして、内容を整理している。(イ) 必要な情報は何かを考えながら読み、引用したり要約したりして、自分の考えをまとめている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を辞書や言葉に関する本を用いて調べたり、使ったりしている。(ア(イ)) 社会的な事象を表す語句を含め、理解するために必要な語句を増している。(イ(オ))

Ⅲ 第5学年及び第6学年

1 学年目標

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

2 第5学年及び第6学年の評価の観点の趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。	目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書いている。	目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んでいる。	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりとごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 話すこと・聞くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。
 - ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報に関係付けること。
 - イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。
 - ウ 共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。
 - エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。
 - オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
 - ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。
 - イ 調べたことやまとめたことについて、討論などを行うこと。
 - ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
・ 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、話し手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりし	・ 考えたことや伝えたいことなどから話題を決めている。(ア) ・ 収集した知識や情報に関係付けている。(ア) ・ 目的や意図に応じて、事柄が	・ 話し言葉と書き言葉との違いに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ア)) ・ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気

<p>ようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場や意図をはっきりさせながら、適切に話したり聞いたりしようとしている。 	<p>明確に伝わるように話の構成を工夫している。(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた適切な言葉遣いで話している。(イ) ・共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話している。(ウ) ・話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめている。(エ) ・互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合っている。(オ) 	<p>付いて話したり聞いたりしている。(イ(イ))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて意識して話したり聞いたりしている。(イ(カ)) ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。(イ(キ)) ・日常よく使われる敬語の使い方<small>に</small>慣れている。(イ(ク)) ・比喩や反復などの表現の工夫<small>に</small>気付いている。(イ(ケ))
---	---	---

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<p>ア 「資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・資料の提示の仕方を工夫することで、説明や報告がより効果的なものとなることを感じながら話したり、話し方を振り返ったりしようとしている。 ・助言や提案をし合い、説明や報告をよりよいものにしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で考えたことや特に伝えたいことなどから、説明や報告をするための話題を決めている。(ア) ・収集した知識や情報のメモやノートの内容を比較・対照したり分類したりして、提示する資料や内容を選んでいる。(ア) ・説明や報告をする事柄が明確に伝わるように、事実と感想、意見とを区別したり、必要な文言や数値などを引用したり、図解したりして発表原稿を書いている。(イ) ・実物や映像、リーフレットやパンフレット、図表などの資料を効果的に提示し、発表している。(イ) ・改まった場面で、丁寧な言葉を用いながら共通語で発表している。(ウ) ・話し手の意図がより伝わるようにするには、どこをどのように修正すればよいかを助言したり、よりよい説明や報告をするためには具体的にどうすればよいかを考えて提案したりしている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉とでは、表現上の特質などに違いがあることに気づき、その特質に注意して話したり聞いたりしている。(イ(ア)) ・時間の経過によって変化するという言葉の特質や、世代によって特有の言葉遣いがあること、地方・地域によって言葉の違いがあることに気づき、場に応じた適切な言葉遣い<small>を</small>している。(イ(イ))

<p>イ 「調べたことやまとめたことについて、討論などをする言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論するために、本や資料を用いて調べたり、インタビューやアンケートを行ったりして、自分の意見の根拠をより確かなものにしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活で考えたことや伝えたいことの中から、学級全体で討論したい話題を決めている。(ア) ・ 本や資料を用いたり、インタビューやアンケートを行ったりして調べ、自分の考えを根拠付けたり、より幅広い視点から考えを見直して意見をまとめたりしている。(ア) ・ 討論に向けて材料を集めながら、異なる意見や対立する意見に対して、それらをどのように聞き取り、どのように質問して自分の意見と関係付けるか、どう切り返して反論するかなどを考えている。(エ) ・ 座談会やパネルディスカッションなどの公開討論会の形式を利用し、互いの考えの違いを大事にしながら、時間内にまとめられるよう、発言内容や発言回数に注意して話し合っている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文の中での語句の係り方や照応の仕方に気付き、いろいろな文の構成があることを理解している。(イ(キ)) ・ 尊敬語や謙譲語など、丁寧な言い方を理解し、相手や場面に応じて使っている。(イ(ク))
<p>ウ 「事物や人物を推薦したり、それを聞いたりする言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦するために、対象となる事物や人物の特徴を様々な視点から挙げた上で、そのよさを整理し、推薦理由を確かなものにしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦する事物や人物のよさを明らかにし、その推薦理由を考えている。(ア) ・ 事物や人物について、よさが伝わるように、推薦の理由を説明したり、エピソードを入れたりして、話の構成を工夫している。(イ) ・ 推薦したい気持ちが伝わるように、声の出し方を工夫したり、言葉を選んだりしている。(イ) ・ 話し手の推薦した理由が納得できるかどうかを考えながら聞き、自分の考えをまとめている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の正しさや美しさをとらえたり、その言葉が適切であるかどうかを感じ取ったりしながら、話したり聞いたりしている。(イ(カ)) ・ 比喩や反復などの表現の工夫に気付き、自分の表現に用いている。(イ(ケ))

(2) 「B 書くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

- ウ 事実と感想，意見などを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。
 - エ 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書くこと。
 - オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。
 - カ 書いたものを発表し合い，表現の仕方に着目して助言し合うこと。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1) に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 経験したこと，想像したことなどを基に，詩や短歌，俳句をつくったり，物語や随筆などを書いたりすること。
 - イ 自分の課題について調べ，意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。
 - ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図に応じ，考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて書こうとしている。 ・ 自分の考えを明確に表現するため，適切に文章を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考えたことなどから書くことを決めている。(ア) ・ 目的や意図に応じて，書く事柄を収集し，全体を見通して事柄を整理している。(ア) ・ 自分の考えを明確に表現するため，文章全体の構成の効果を考えている。(イ) ・ 事実と感想，意見などを区別して書いている。(ウ) ・ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。(ウ) ・ 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書いている。(エ) ・ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりしている。(オ) ・ 書いたものを発表し合い，表現の仕方に着目して助言し合っている。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典について解説した文章を基に，昔の人のものの見方や感じ方を理解している。(ア(イ)) ・ 話し言葉と書き言葉との違いに気付いて書いている。(イ(ア)) ・ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付いて書いている。(イ(イ)) ・ 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。(イ(ウ)) ・ 語句の構成，変化などについての理解を深め，また，語句の由来などに意識を向けている。(イ(エ)) ・ 文章の中での語句と語句との関係を理解している。(イ(オ)) ・ 語感，言葉の使い方に対する感覚などについて意識して書いている。(イ(カ)) ・ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。(イ(キ)) ・ 日常よく使われている敬語の使い方に慣れている。(イ(ク)) ・ 比喩や反復などの表現の工夫に気が付き，自分の表現に用いている。(イ(ケ)) ・ 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使っている。(ウ(ア)) ・ 仮名及び漢字の由来，特質などについて理解している。(ウ(イ))

		<p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書いている。(ア) ・目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。(イ) ・毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。(ウ)
--	--	--

【「B 書くこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<p>ア 「経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくったり、物語や随筆などを書いたりする言語活動」を通じた指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な情景や場面をとらえ、定型詩のリズムなどに親しみながら短歌や俳句を創作しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや心に残った出来事などから、自分の思いを託すのにふさわしい情景や自分の心が揺さぶられた場面を選んで、詩や短歌、俳句の題材を設定している。(ア) ・選んだ情景や場面を通して自分の思いが伝わるよう、言葉のリズムや響きに注意して描写している。(ウ) ・短歌や俳句の伝統的な定型詩の特徴を踏まえて、創作している。(イ) ・つくった短歌や俳句を読み返し、用いた言葉が自分の思いを表すのにふさわしいか確かめたり、他の言葉に置き換えてみるなどして表現の効果がよりはっきりするよう工夫したりしている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典について解説した文章を基に、昔の人のものの見方や感じ方を理解し、短歌や俳句をつくる際に生かしている。(ア(イ)) ・言葉が時間の経過によって変化するものであることに気付き、短歌や俳句をつくる際にその特質を生かして書いている。(イ(イ)) ・文や文章を書く際に、用いた言葉が適切であるかどうかを感じ取りながら書いている。(イ(カ)) ・比喩やユーモア、省略、倒置、対句などの表現の工夫に気付き、自分の表現に用いている。(イ(ケ)) ・用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて、詩や短歌や俳句を書いている。[書写] (ア) ・つくった短歌や俳句を書くために使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。[書写] (イ)
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを表現するのにふさわしい題材や叙述を見だしながら、物語や随筆を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身近に起こったことや見たこと聞いたことの中から、物語や随筆に書きたいことを選んでいく。(ア) ・自分の考えの根拠となる出来事について、概説したり特定の場面を詳しく描写したりし 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手が繰り返し確認することができるという書き言葉の特徴に気付き、それを生かして書いている。(イ(ア)) ・文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して書いている。(イ(カ))

	<p>て他の人にも分かるように書いている。(ウ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 書き出しと結びの文が、自分の思いを効果的に表すものとなっているかを確かめたり、複数書いてみてよりよい叙述を選ぶなど工夫したりしている。(オ) 物語や随筆を発表し合い、それらを書くことで自分のものの見方が深まったり生き方を見つめ直したりできることに気付いている。(カ) 	
--	---	--

イ 「自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり、編集したりする言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えたことを伝えたいという願いをもち、それが伝わるように事実や考えたことなどを関係付けたり比較したりしながら、効果的に書き表そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の経験や、読んだ資料、友達との意見の交流などから、意見を述べる文章を書く題材を決めている。(ア) 題材に関する情報を集めて自分の考えを明らかにしたり、その考えを支えるための根拠や事例となる材料を集めたりしている。(ア) 現状認識と問題提起、解決に向けての提案とその事例の提示、結論や展望といった意見を述べる文章に必要な構成を考えて、集めた材料を構成している。(イ) 構成を踏まえて、さらに必要な材料が何かを考えたり追加の取材をしたりしている。(ア) 意見とそれを支える事実とが読み手に明瞭に区別できるよう、接続語の使い方や文末表現に注意して書いている。(ウ) 自分の意見を明確に伝えるために、必要に応じて、結論を端的に書いたり、考えの道筋を順を追って詳しく書いたりしている。(ウ) 文章や発言を引用したり、自分の考えの根拠となる事実を表す図表やグラフを用いたりして、自分の意見が説得力をもって伝わるように書いている。(エ) 書いた文章を読み返し、意見が効果的に表現できているところを確かめたり、意見とそれを支える根拠、具体化するための事例の選択などについて 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の由来について、語源を調べたり和語・漢語・外来語などを区別したりして理解している。(イ(エ)) 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(ウ(ア)) 仮名や漢字がどのように形成され、継承されてきたのかについて基本的な知識をもっている。(ウ(イ)) 書く速さを意識して、聞き取りメモを取ったりノートを取ったりしている。[書写](ア)
---	---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・自分の日常生活や経験などを振り返って書くことによって、自分の感じ方の幅が広がったり考えが深まったりするといったよさを感じながら書き表そうとしている。 	<p>て改善すべき点を見付け、書き直したりしている。(オ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き手の意図を踏まえながら文章を読み合っ、意見の具体性や明確さ、妥当性などの面から見て改善すべき点を見付け、どこをどう書き直せばよいかを助言している。(カ) <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験に基づいて感じたり考えたりしたことを関係付けながら、活動を報告する文章に書く事柄を決めている。(ア) ・活動の報告を通して自分が感じたり考えたりしたことを表現するために必要な材料を集めている。(ア) ・自分の考えが明確になるように、活動を始めたきっかけ、活動の過程において生じた課題とその克服の経過、そこから得たことや今後への展望など、活動を報告する文章に必要な構成を考えて組立てている。(イ) ・表現の効果を考えて、読み手の関心を喚起するような書き出しや事例の配置を工夫している。(イ) ・自分の考えが伝わるように、端的に記述する部分と、取り上げて詳述する部分とを区別して書いている。(ウ) ・書き手の意図を踏まえながら書いた文章を読み合っ、書き手らしさが表れるエピソードや言葉に着目して助言し合っている。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく送り仮名を書くとともに、語句の構成などに注意して正しい仮名遣いで表記している。(イ(ウ))
<ul style="list-style-type: none"> ・日常目にする刊行物などの編集の仕方に関心をもち、それらを参考にしながら編集を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活などについての意見交換を通して、活動したことを報告文集などに編集するという目的を設定したり、編集方針を協議して決めたりしている。(ア) ・課題に応じて、文集、本や新聞、リーフレットやパンフレットなど、様々な編集形態の中から、適切なものを選んでいく。(ア) ・課題に応じて、章立てや節などを考えたり、題名や前書き、 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章にはいろいろな構成があることについて理解し、目的に合った構成を選んで書いている。(イ(キ))

	目次，後書き，奥付などを付 けたりしている。(イ)	
ウ 「事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書く言語活動」を通した指導		
<ul style="list-style-type: none"> 多面的に見たり，他と比較したりしながら，その事物が推薦するに足るものであることを確かめた上で，そのよさがより多くの人に伝わるように推薦文を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が多くの人にぜひ薦めたいと思う事物のよさを，確かな根拠をもって選んだり，他と比較してのよさをとらえたりしている。(ア) 多くの人に事物のよさが伝わるように，推薦書や宣伝文，紹介のためのポスター，案内のための小冊子など，様々な形式の中から適切なものを選んでいく。(ア) ポスターや小冊子の中に含まれる様々な文や文章の種類に着目し，割り付けやレイアウトなどの構成を考えていく。(イ) 不特定の相手にもよさが伝わるように，複数の根拠や事例を挙げたりよさを表すのにふさわしい推薦するための語句を使ったりしながら，事物を推薦する文章を書いている。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> 接頭語，接尾語，複合語，略語，慣用語などの語句の構成，変化などについての理解を深めている。(イ(エ)) 日常よく使われている敬語の使い方に慣れるとともに，相手や目的に応じて適切に敬語を使っている。(イ(ク)) <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> 毛筆を使用して，点画から点画，文字から文字へと移動していく過程における穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。(ウ)

(3) 「C 読むこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 読むことのできる能力を育てるため，次の事項について指導する。
 - 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。
 - 目的に応じて，本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
 - 目的に応じて，文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり，事実と感想，意見などとの関係を押さえ，自分の考えを明確にしながらかきだすこと。
 - 登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。
 - 本や文章を読んで考えたことを発表し合い，自分の考えを広げたり深めたりすること。
 - 目的に応じて，複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。
 - 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1) に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。
 - 伝記を読み，自分の生き方について考えること。
 - 自分の課題を解決するために，意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。
 - 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。
 - 本を読んで推薦の文章を書くこと。

【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じ、内容や要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながらか本や文章を読もうとしている。 ・ 読書を通して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をしている。(ア) ・ 自分の課題を解決したり、本の推薦をしたりするなどの目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫している。(イ) ・ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながらか読んでいる。(ウ) ・ 目的に応じて、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読んでいる。(ウ) ・ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。(エ) ・ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。(オ) ・ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読んでいる。(カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読している。(ア(ア)) ・ 古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を理解している。(ア(イ)) ・ 話し言葉と書き言葉との違いに気付いて文章を読んでいる。(イ(ア)) ・ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付いて文章を読んでいる。(イ(イ)) ・ 語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに意識を向けている。(イ(エ)) ・ 文章の中での語句と語句との関係を理解している。(イ(オ)) ・ 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて意識して文章を読んでいる。(イ(カ)) ・ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。(イ(キ)) ・ 日常よく使われる敬語の使い方に慣れている。(イ(ク)) ・ 比喩や反復などの表現の工夫を理解している。(イ(ケ)) ・ 当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(ウ(ア)) ・ 仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(ウ(イ))

【「C 読むこと」の評価規準の設定例】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<p>ア 「伝記を読み、自分の生き方について考える言語活動」を通した指導</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の生き方を描いた伝記を読み、感銘を受けたり、あこがれを抱いて自分を見つめ直し、自分の生き方について考えたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝記を読み、描かれた人物の行動や生き方から、読み手である自分に強く伝わってきたことを明確にしている。(オ) ・ 伝記を読んで強く伝わってきたことを明らかにし、それが 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を、現代人のものの見方や感じ方と比べている。(ア(イ)) ・ 話し言葉と書き言葉との違い

	<p>どのように書き表されているかに注意しながら音読している。(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物の行動や生き方が、どのような事実を基に、どう意味付けられているのかについて、事実と意見、感想などとの関係を押さえて読んでいる。(ウ) 人物の行動や生き方を描き出す優れた描写に着目して読んでいる。(エ) 伝記に描かれた人物の生き方と自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見付け、自分の考えをまとめている。(オ) 自分が解釈したことや感動したことについて、どのように声に出して読めば聞き手にもよく味わってもらえるかを考えながら朗読している。(ア) 	<p>に気付いて、様々な文章を読んでいる。(イ(ア))</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間の経過によって変化するという言葉の特質や、世代によって特有の言葉遣いがあることに気付いて、文章を読んでいる。(イ(イ)) 当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(ウ(ア))
--	--	---

イ 「自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を解決したいという願いをもち、その課題解決のために複数の本や文章を比べて読み、情報を多面的に収集しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を見いだすために、同じ事柄について異なる筆者が執筆した本や文章を読み比べて、疑問や調べたい事柄を明らかにしている。(イ) 自分の課題を解決するために、比べ読み、速読、摘読、多読などの多様な読み方の中から、効果的な読み方を選択して読んでいる。(イ) 自分の課題を解決するために、複数の本や文章などを比べて読み、必要な情報を選んでいる。(カ) 意見を述べた文章や解説の文章などに対する自分の考えをもつために、必要な内容を押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえたりして読んでいる。(ウ) 書き手の立場や考え方に注意して読み、自分の考えとの共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の由来について、語源を調べたり和語・漢語・外来語などを区別したりして理解している。(イ(エ)) 仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(ウ(イ))
--	---	--

ウ 「編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> 新聞の編集の仕方や記事の書き方について関心をもち、そこに書き手の工夫があること 	<ul style="list-style-type: none"> 見出しで結論を先に示し、リードから本文へ次第に詳しくしていくなどの新聞の記述の 	<ul style="list-style-type: none"> 接頭語、接尾語、複合語、略語、慣用語などの語句の構成、変化などについて理解を深め
---	---	--

<p>を感じながら必要な情報を集めようとしている。</p>	<p>仕方に着目して、効果的な読み方を工夫している。(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • どのような記事がどのように割り付けされているかなど編集の仕方に注意して読み、情報を収集するための効果的な読み方を工夫している。(イ) • 報道記事や社説、コラムなどの記事の特徴を理解し、目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読んでいる。(ウ) • 同じ内容を取り上げた複数の文章を比べて読み、そこに書き手の意図が表れていることを理解した上で、自分はどうか考えるかを明確にしている。(オ) 	<p>ている。(イ(エ))</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文や文章にはいろいろな構成があり、書く目的に応じた構成がなされていることを理解している。(イ(キ)) • 表音文字としての平仮名や片仮名、表意文字としての漢字の特質などについて理解している。(ウ(イ))
-------------------------------	--	--

エ 「本を読んで推薦の文章を書く言語活動」を通した指導

<ul style="list-style-type: none"> • 自分が推薦しようと考えた理由を明らかにしながら対象となる本を読み返したり、相手が求めている内容や情報に応じて本を選んで推薦したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 物語の特徴を把握して推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえている。(エ) • 物語を推薦するために、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいる。(エ) • 場面の展開に沿って読み、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目しながら、その本を推薦するために、自分の考えをまとめている。(エ) • 相手が必要とする情報にふさわしい本を推薦するために、筆者が提示する事実と意見との関係を押さえて読み、推薦理由を見付けている。(ウ) • 推薦する対象となる本の内容や書き手に関連する本を重ねて読むなど、目的に応じて複数の本や文章を選んで比べて読んでいる。(カ) • 本の推薦の文章を読み合い、感じたことや考えたことがどのように共通していたり相違したりしているのかを明らかにし、自分の考えを広げたり深めたりしている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> • 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読や暗唱をしている。(ア(ア)) • 文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。(イ(オ)) • 言葉の正しさや美しさをとらえたり、その言葉が適切であるかどうかを感じ取ったりしながら読んでいる。(イ(カ)) • 日常よく使われる敬語の使い方<small>に</small>慣れている。(イ(ク)) • 比喩やユーモア、省略、倒置、対句など、文章に表れる表現の工夫<small>に</small>に気付き、文や文章を読んでいる。(イ(ケ))
---	--	---